

聖母の小さな学校 通信

第92号
2014年
4月7日発行
聖母の小さな学校

新たな1年が始まります。

桜花爛漫、全てのものが芽吹き、生き生きと成長する春になりました。平素は、聖母の小さな学校の教育に一方ならぬご協力をいただき、本当にありがとうございます。本年度も、どうぞよろしく願いいたします。

さて、今日から新しい年度が始まります。私たちが不登校の生徒の教育を始めて26年になります。その間、250名程の生徒が、社会的自立を遂げ、それぞれが不登校という困難を生き、そこから学んだ輝きを持って、社会の中で歩みを続けております。不登校になったことをしっかりとらえ、まずそこに立ち、それぞれの成長課題をつかみ、それに取り組むことが大切であるということです。この時を避けたり、何とかなると放置したり、本人や家族を責めたり、何が悪くてこうなったのかなどを追及したりといった筋違いなことをしないことです。やはり、不登校を正しく生きるという教育の大切さを思います。今、ひきこもりの青年が、全国で70万とも100万とも言われています。そして、その7割が不登校経験者です。小中高の不登校は誰でもがなり、それは成長の一段階であることを考えますと、不登校生への教育の責任の重さを感じます。

今年度も、文部科学省「いじめ対策等生徒指導推進事業」の研究委託（決定）、京都府教育委員会「フリースクール連携推進事業」の研究委託（予定）を受け、不登校の生徒たちへの充実した教育を展開し、パイオニアとしての役割を果たしていきたいと思えます。

今年度は、昨年度からの継続生3名でのスタートです。それぞれが自己の成長課題にコツコツと取り組み、人間として一回りも二回りも大きくなって社会の中で十分にやって行ける力を付けたいと思えます。今年度も多くの方々にお世話になります。どうぞよろしく願いいたします。

<今月の主な行事>

- 7日（月）1学期始業式
- 11日（金）お花見
- 22日（火）茶道教室
- 23日（水）陶芸教室
- 24日（木）ハイキング
- 25日（金）心身障害者施設「こひつじの苑舞鶴」ボランティア
- 28日（月）調理実習

